

施設基準あり

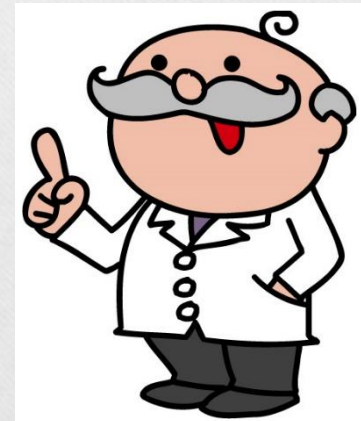
B001 23

がん患者指導管理料 1



2014年度診療報酬のポイント

◆名称が変更になりました！
2013年度まで
「がん患者カウンセリング料」
2014年度～
「がん患者指導管理料」



施設基準あり

B001 23

がん患者指導管理料 1

がん患者指導管理料1 500点
(患者1人につき1回)

新

がん患者指導管理料2 200点
(患者1人につき6回)

新

がん患者指導管理料3 200点
(患者1人につき6回)



入院でも外来でも算定できます！

B001 23

がん患者指導管理料 1

施設基準 1

人員

看護師（専任）
＝5年以上がん患者の看護に従事した経験
緩和ケアの研修修了

医師＝緩和ケアの研修修了

管理料2との違い

診断結果、治療方針の説明等は、
両者の**同席**が必要です。



終始医師が同席の必要はないが、
診断結果や治療方針等についての説明は
医師が行うこと。

研修については
次のページを
見てね★



B001 23

施設基準1

がん患者指導管理料 1

人員

管理料2と同じ

【医師の研修】

●次のいずれかの研修

- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針
(平成20年4月1日付け健発第0401016号厚生労働省健康局長通知)
に準拠した緩和ケア研修会
- ・緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修会
(国立がん研究センター主催) 等

看護師の研修は次のページを見てね★



がん患者指導管理料 1

人員

管理料2と同じ

該当する研修については
次のページを見てね★



【看護師の研修】

- 国及び医療関係団体等が主催する研修
(6月以上かつ600時間以上の研修期間で、修了証が交付されるもの)
- がん看護又はがん看護関連領域における専門的な知識・技術を有する看護師の養成を目的とした研修
- 講義及び演習により、次の内容を含むもの
 - (イ) がん看護又はがん看護関連領域に必要な看護理論及び医療制度等の概要
 - (ロ) 臨床倫理（告知、意思決定、インフォームド・コンセントにおける看護師の役割）
 - (ハ) がん看護又はがん看護関連領域に関するアセスメントと看護実践
 - (ニ) がん看護又はがん看護関連領域の患者及び家族の心理過程
 - (ホ) セルフケアへの支援及び家族支援の方法
 - (ヘ) がん患者のための医療機関における組織的取組とチームアプローチ
 - (ト) がん看護又はがん看護関連領域におけるストレスマネジメント
 - (チ) コンサルテーション方法
- 実習により、事例に基づくアセスメントとがん看護又はがん看護関連領域に必要な看護実践

B001 23

がん患者指導管理料 1

施設基準 1、2

人員

管理料2と同じ

■疑義解釈（その1 H26.3.31）より

【看護師の研修に該当するもの】

- ① 日本看護協会認定看護師教育課程「緩和ケア」、「がん性疼痛看護」、「がん化学療法看護」、「がん放射線療法看護」、「乳がん看護」
- ② 日本看護協会が認定している看護系大学院の「がん看護」又は「精神看護」の専門看護師教育課程

設備

管理料2、3と同じ



●個室を備えていること。

（患者に対して診断結果及び治療方針の説明等を行う場合に、患者の希望に応じて、患者の心理状況及びプライバシーに十分配慮した構造）

B001 23

施設基準あり

がん患者指導管理料 1

指導内容

【指導者】

医師、看護師（施設基準を届出た者）

【指導内容】

診断結果及び治療方法等について患者が十分に理解し、納得した上で治療方針を選択できるように説明・相談を行った場合

※必要に応じて、その他の職種と共同する。

【対象患者】

悪性腫瘍と診断された患者

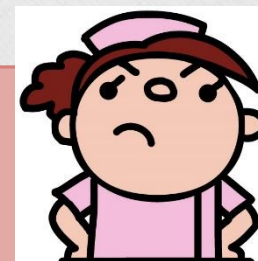
【場所】

患者の心理状態に十分配慮された環境

2014年改定で追加

指導内容等の要点は、診療録又は看護記録に記載が必要です！

※患者の意思確認について、患者の署名がある文書等を必ずしも残す必要はありませんが、患者の理解が得られたかを含め、話し合いの内容を診療録に記載し、患者に文書を提供した場合は写しを診療録に添付して下さいね。



B001 23

がん患者指導管理料 1

施設基準あり

算定

- 悪性腫瘍の診断を確定した後に、新たに診断された悪性腫瘍
→別に算定可○
- ※転移性腫瘍、再発性腫瘍は算定不可×



悪性腫瘍の診断
→がん患者指導管理料 1
を算定



転移性腫瘍の診断
→がん患者指導管理料 1
算定不可×



悪性腫瘍の診断
→がん患者指導管理料 1
を算定○

B001 23

がん患者指導管理料 1

施設基準あり

算定

以下について、それぞれ当該カウンセリングを実施した場合は、それぞれの保険医療機関で、患者1人につき1回算定可○

- ・ B005-6 がん治療連携計画策定料を算定した保険医療機関
- ・ B005-6-2 がん治療連携指導料を算定した保険医療機関



B005-6-2 がん治療連携指導料



がん患者指導管理料 1



B005-6 がん治療連携計画策定料



がん患者指導管理料 1



B001 23

がん患者指導管理料 1

施設基準あり

算定不可×

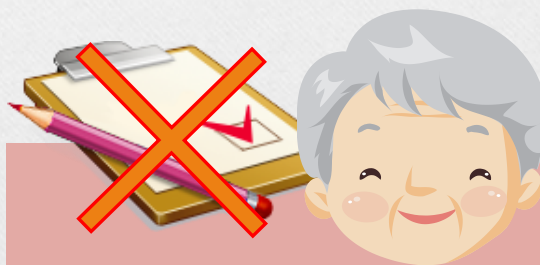
以下の場合には算定不可×

- ×患者の十分な理解が得られない場合
- ×患者の意思が確認できない場合
- ×患者を除く家族等にのみ説明を行った場合

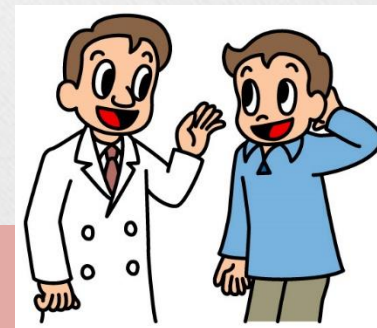
意識障害や
重度の認知症 等



×患者さんが
理解できない



×患者さんの意志が
確認できない



×家族のみに説明

B001 23

がん患者指導管理料 1

施設基準あり

算定不可×

■ 疑義解釈（その2 H26.4.4）より

- がん患者管理指導料 1 の算定日
→ がん患者管理指導料 2・3 の算定不可×
- （がん患者管理指導料 1 には、がん患者管理指導料 2・3 の指導が含まれます）

同日



○ がん患者管理指導料 1
× がん患者管理指導料 2 または 3

別日



○ がん患者管理指導料 1
○ がん患者管理指導料 2 または 3

B001 23

施設基準あり

がん患者指導管理料 1

勤務時間の計算

- 一般病棟入院基本料の病棟に勤務している専任の看護師が、当該病棟に入院している患者に対し、指導を行った場合
→この業務時間も当該病棟での勤務時間として算入することができる。



入院患者に指導⇒病棟勤務時間に含める

- 一般病棟入院基本料の病棟に勤務している専任の看護師が、外来患者に対して指導を行った場合
→病棟勤務と外来勤務を兼務する場合に該当し、勤務計画表による病棟勤務の時間を比例計算の上、看護要員の数に算入する。



病棟→外来患者に指導⇒病棟勤務時間に含めない

B001 23

がん患者指導管理料 1 のポイント



- 基本的な要件は、2013年度までの「がん患者カウンセリング料」の時と変わっていません。
- 2014年改定で『指導内容等の要点を、診療録又は看護記録に記載すること』と算定要件に明記されたので、記録を残しておきましょう！



B001 23

がん患者指導管理料 1

施設基準あり

疑義解釈等（2014年診療報酬改定以降）

通知日	Q	A
その1 26.3.31	がん患者指導管理料 2 の看護師の研修とはどのような研修か。	日本看護協会認定看護師教育課程「緩和ケア」、「がん性疼痛看護」、「がん化学療法看護」、「がん放射線療法看護」、「乳がん看護」の研修。 日本看護協会が認定している看護系大学院の「がん看護」又は「精神看護」の専門看護師教育課程。
その2 26.4.4	がん患者管理指導料 1 を算定した同一日に、がん患者管理指導料 2 又は 3 を算定することは可能か。	がん患者管理指導料 1 には、がん患者管理指導料 2 及び 3 に係る指導が含まれることから、がん患者管理指導料 1 を算定した同一日にがん患者管理指導料 2 又はがん患者管理指導料 3 を算定することはできない。
その4 26.4.23	がん患者指導管理料について、「当該患者の同意を得て」となっているが、患者の同意を得ている旨をカルテ等に記録することで要件は満たされるか。	そのとおり。

